

平成26年度下半期中札内村の財政事情

公表の目的

中札内村では財政運営の透明性や情報共有を目的として、年に2回、条例に基づき、歳入歳出予算の執行状況や財産、地方債の現在高などの財政事情の公表を行っています。

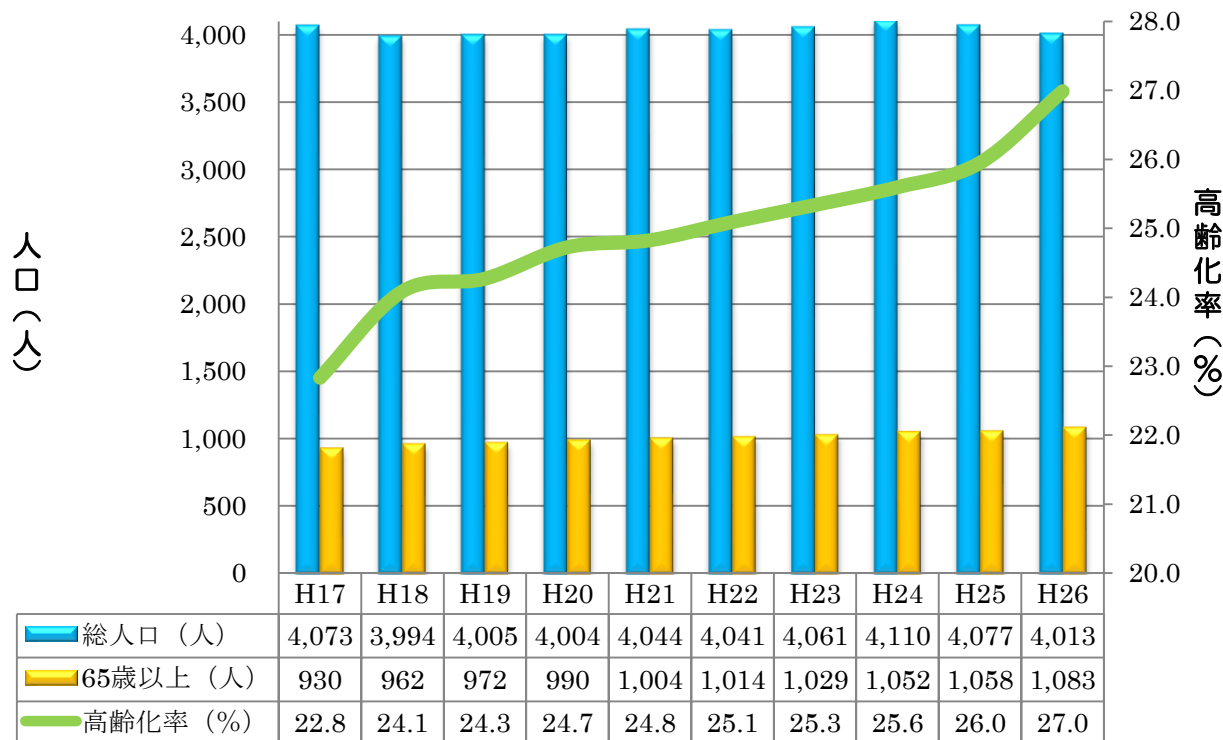
村民のみなさんやふるさと応援寄附金をお寄せいただいているみなさんに村の財政事情を知っていただくため、役場前の掲示板のほかホームページで公表します。

公表の内容

今回の公表では、平成26年10月1日から平成27年3月31日までの、平成26年度下半期における中札内村の財政事情について公表するものです。

公表の内容は、「1 村の人口」「2 歳入・歳出予算の執行状況」「3 村有財産」「4 基金」「5 地方債」「6 村税の賦課・徴収状況」です。

1 村の人口



住民基本台帳法に基づく各年度末（3月31日）の人口

※住民基本台帳法の改正により、平成24年からは総人口に外国人を含みます。

グラフは、過去10年間の村の総人口と65歳以上の人口の推移です。総人口は増減を繰り返していましたが、数年ぶりに4,000人台前半となりました。

これに対し、65歳以上の人口は右肩上がりとなっており、高齢化率は27.0%で村民の4人に1人以上が65歳以上ということになります。ちなみに日本全国の65歳以上の割合は26.4%（平成27年4月1日現在総務省人口推計月報による）となっており、村は若干高い数値となっています。



2 歳入・歳出予算の執行状況

平成26年度下半期各会計予算の執行状況総括表次第

単位（千円）

会 計	歳 入		歳 出	
	予 算 額	収入済額	予 算 額	支出済額
一 般 会 計	4,707,955	4,431,578	4,707,955	3,872,340
国民健康保険特別会計	573,775	536,129	573,775	494,233
介護保険特別会計	234,839	234,337	234,839	211,196
後期高齢者医療特別会計	58,140	57,189	58,140	56,367
簡易水道事業特別会計	129,895	125,218	129,895	123,348
公共下水道事業特別会計	163,034	162,322	163,034	157,920

（平成27年3月末現在）

※一般会計の歳入・歳出予算額には繰越明許費及び通次繰越を含む。

- ・繰越明許費…歳出予算のうち、特別な事情により年度内に支出が終らないものについて、議会の議決を得て翌年度へ繰り越すことができます。
- ・通次繰越 …継続費（大規模な建設事業などで事業が2年以上となる事が確実な場合に、事業費の総額と年割額について一括の予算として議会の議決を得るもの）のうち、その年度に設定した予算について特別な事情により年度内に支出が終わらないものについて、翌年度以降へ繰り越すことができます。

繰越明許費	平成25年度から平成26年度へ繰り越した分	385,984千円
	平成26年度から平成27年度へ繰り越す分	91,479千円
通次繰越	平成25年度から平成26年度へ繰り越した分	428,190千円
	平成26年度から平成27年度へ繰り越す分	81,640千円

会計年度は単年度が原則ですが、一般会計の予算には平成27年度へ繰り越す繰越明許費・通次繰越が含まれており、その予算は27年度において執行します。また残りの予算は、現金の未収未払いの整理を行う出納整理期間（4月1日～5月31日）内に執行します。

3 村有財産

区 分	現 在 高	備 考
土地	22,782,321.88㎡	前年度比-28,994.83㎡
建物	123,297.4㎡	前年度比+1,993.64㎡
山林	12,944,228.02㎡	前年度比±0㎡
物件	700千円	中札内フェリーエンドルフ会員権
有価証券	20千円	株券

(平成27年3月末)

土地…宅地分譲地（ときわ野第3次分譲宅地）売払い等により減少しました。

建物…まちなか柏団地の建設により増加しました。

村有財産の一部



中札内中学校



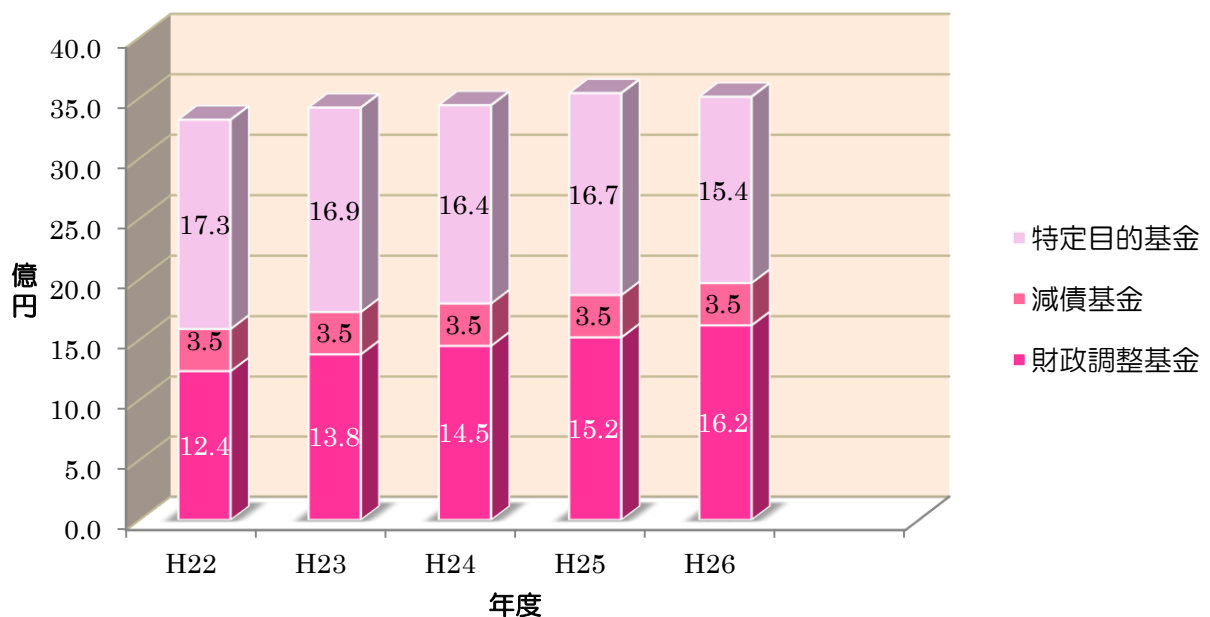
まちなか柏団地



豆資料館

4 村の基金の状況

一般会計基金	平成27年3月末現在高	目 的
財政調整基金	16 億 1,703 万円	年度間の財源の不均衡を解消するための基金で、財源不足の穴埋めや災害などで緊急に必要な公共事業などに充てられます。
減 債 基 金	3 億 5,440 万円	地方債(村の借金)の返済に充てられます。
特定目的基金	16 億 4,211 万円	中札内村には 10 種類の基金があり、庁舎整備、公共施設、行事、環境、福祉、農業、商業、教育、文化、スポーツなどに充てられます。



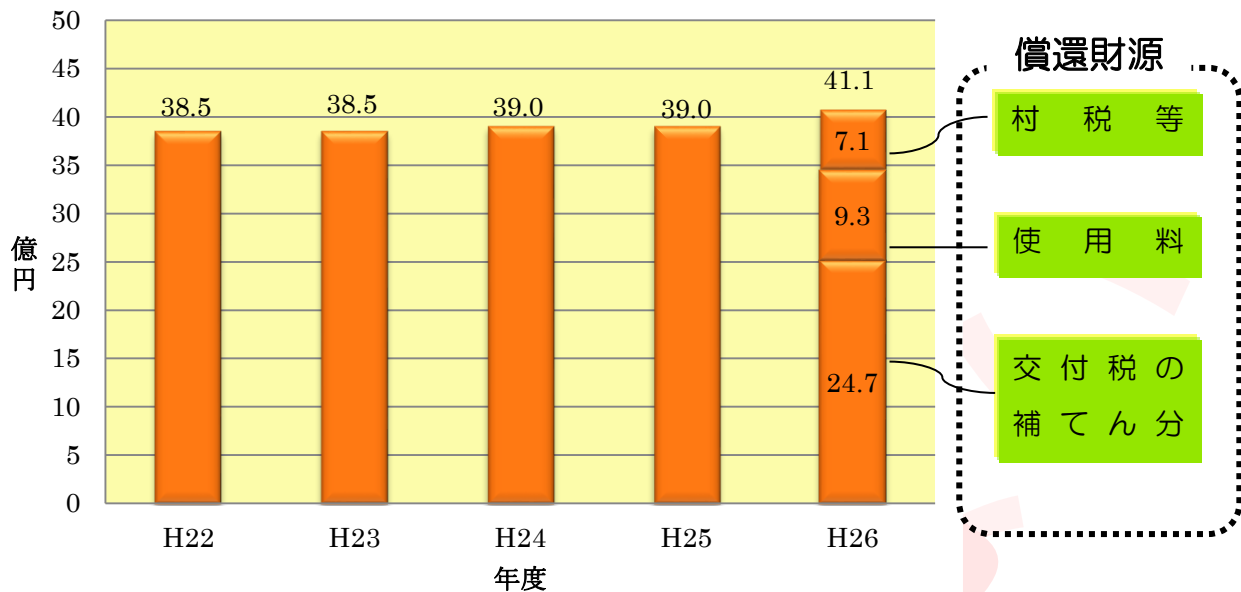
基金とは村の貯金のことを言い、毎年、主に基金の利子や寄附金、将来の公共事業に備えた積み立てを行っています。

平成26年度の主な取崩しとして、特定目的基金のうち公共施設等整備基金を中札内中学校改修工事のため取崩しました。また、食と農業農村振興基金を牧場サイロ建設工事、牧場トラクター購入などのため取崩しました。

財政調整基金については取崩しを行わず、25年度決算剰余金に加え、ときわ野第3次分譲地の売払分を積み立てたため、結果的に基金残高は前年度より増となりました。

また、庁舎整備のための基金を新たに創設し、1億円を積み立てました。

5 村の地方債残高の状況



平成26年度末の一般会計における借金（地方債）の残高は約41億円で、3億3,365万円の返済を行いました。5億1,577万円の借り入れを行ったため、結果的に残高は前年度より増加しました。

なお、平成26年度は次の借り入れをしました。

- ・ 豊栄橋、杉村橋、中島新橋長寿命化事業のために 670万円
- ・ 道営畑地帯総合整備事業のために 440万円
- ・ 公営住宅の建設（まちなか柏団地）、ストック改善工事（めぐみ団地、泉団地、上札内東団地）のために 8,510万円
- ・ 施設整備事業（ポンプ車購入）のために 1,300万円
- ・ 消防救急無線デジタル化整備事業等のために 6,840万円
- ・ 防災無線デジタル化整備事業のために 4,980万円
- ・ 中札内中学校大規模改修工事のために 1億3,180万円
- ・ 地方交付税の減額を補うために 1億5,657万円

今後の返済財源の内訳は、公営住宅使用料や牧場使用料が9.3億円、交付税による国の補てんが24.7億円、残り7.1億円は村税等の一般財源となる見通しです。

借金（地方債）を借り入れることにより、その年の収入では賄いきれない事業費の財源を確保したり、長期にわたって利用する施設などを、次年度以降の世代の住民で公正に負担し

たりすることができます。また、返済額の一部を国が補てんする地方債もあります。

今後も財政状況を予測しながら、利率の低い地方債を借り入れるなど計画的な返済をし、後年度の償還負担をできるだけ少なくします。

6 村税の賦課・徴収状況

税目	税の決定額（調定額）	3月末現在収入額	徴収率	前年同期徴収率
村民税 個人	1億9,331万円	2億82万円 (1億8,540万円)	103.9% (95.9%)	99.9% (95.6%)
村民税 法人	6,803万円	6,803万円	100.0%	100.0%
固定資産税	2億9,854万円	2億8,033万円	93.9%	93.8%
軽自動車税	877万円	870万円	99.2%	98.7%
たばこ税	3,084万円	3,084万円	100.0%	100.0%
国民健康保険税	1億3,272万円	1億2,698万円	95.7%	96.0%

※「村民税 個人」については、3月分の道民税の振替処理が4月に行われるため2段書きとしています。下段の（ ）書きが、振替処理対象の金額を抜いた数値です。

各村税は調定に対する収入がほぼ終わっており、出納整理期間のうちに残りの未収入の税を徴収します。

村税は村の貴重な財源です。住民のみなさんにサービスを提供し、安定した財政を運営するためにも、税は納期限までに納入くださるようご協力をお願いします。

